

2015年春闘勝利3・12島根県統一行動ニュース

2015年3月13日
しまね労連



【2015.3.12：くびき道路をデモ行進】

春闘共闘代表・舟木健治しまね労連議長



3月10日は東京大空襲があった日。何故戦争が起き尊い命を落とさねばならなかったのか。いま沖縄新基地問題では、沖縄県民の「基地はいらない」という民意を無視する安倍内閣。その姿勢は戦争につながる危険なものです。3月11日は東日本大震災と翌日には原発事故があった日です。この事故から学ぶべきは原発ゼロです。しかし、ここでも安倍政権は再稼働に固執し電力会社の大儲けに加担する姿勢を見せています。軍事費や大企業にお金が向けられる一方で、医療や教育現場などが人に向き合う職場が大切にされているのか問われています。賃上げ、雇用、労働条件改善にむけ運動を広げていきましょう。

15国民春闘島根県共闘会議は、3月12日寒風吹きすさぶ中、春闘統一行動をしました。松江生協病院ローソン前で集会をし、JR松江駅前までのデモ行進には約40人が集まりました。参加者は、大幅賃上げ、医師・看護師・介護職員などの大幅増員、医療・社会保障充実、戦争する国づくり反対、憲法9条を守ろう、なくせ原発、安倍政権の暴走を止めようなど市民に大きくアピールしました。

島根県医労連・執行委員長 佐野みどりさん



私たちは春闘で賃金・労働条件改善と、社会保障制度の充実を要求に掲げたたかっています。生活実態に基づく賃上げ要求と人手不足による頻回の夜勤や長時間労働で疲れ果てて辞めていく人がいないよう労働条件改善をめざします。国は自らの責任を投げ捨て自立・自助を掲げて押し進める社会保障制度の後退には反対です。今日は私たちの要求と行動を市民に大きくアピールしましょう。

全医労松江・書記長 木村真理世さん



一般病棟と障害者病棟があります。特に難病患者が入院している病棟の労働環境がとてひどいです。看護師や介護職員、助手など足りません。患者の生活を守るために、病棟からの援助も多いですが、日々格闘している状態です。日勤は20～21時までになり長時間勤務が多いです。入浴日は人手不足で日勤者だけでは足りなく、深夜明けがそのまま午前10～11時まで手伝うことが日常化しています。病院へは改善を訴えています。今後、増員要求で団体交渉を行う予定です。ともにがんばりましょう。

松江生協労組副執行委員長 竹本耕司さん（放射線）



回答ができました。夏季一時金が予想もしない大幅な削減の回答でした。背景の一番にあるのは診療報酬引き下げ、消費税値上げが大きく影響しています。さらに介護報酬引き下げも余波としてあります。しかし、こうした中でも、職員は一生懸命働いているので、それに応える回答をするのも経営者の責任です。しっかりした回答を求めていきたいと思えます。一方、安倍政権による社会保障の後退が進んでいます。このままでは崩壊すら懸念されます。このことにも目を向けなければなりません。地域住民、患者の命を守ること、労働者の雇用、生活を守ることを柱に、力を合わせがんばりましょう。

全日赤松江執行委員長 山城圭進さん



春闘で4万円の要求をしましたが、病院側は、消費税増税、返済、高額医療機器購入が重なり厳しい財政を理由に聞き入れようとしない状況です。引き続き要求を経営側に訴えていくと共に、社会にも訴え政治から変えていかねばと思います。2交代職場が3病棟に広がりました。労組は8時間以上の勤務には反対の立場で、働くルールをつくり体に負担がなく働き続けられる体制をつくるよう交渉しています。病棟では2人パートナーで確認し合い仕事をするPNSシステムを入れていく流れがあります。現場は人手が足りなく混乱しており、患者にケアの低下がないよう見えています。病院新築後、労組掲示板がありません。交渉が進まないの地労委にあっせんしています。労組掲示板は労組の権利の根幹でもあるので、必ず勝ち取っていく決意です。



3・12集会宣言

本日、島根県医労連としまね労連は、全国の行動に呼応して県都松江に集まり、いのちと暮らし、平和を守る協同の輪を広げるために、集会を開きました。

労働者の実質賃金は20ヶ月連続下がり続けています。年収は15年間で50万円も低下しました。昨年4月の消費税増税によって家計はいっそう冷え込み、消費支出が抑制され、国内総生産もマイナスが続き日本経済を悪化させています。大幅賃上げにより購買力が上がれば日本経済を立て直す道につながります。春闘で大幅賃上げを勝ち取るため奮闘しましょう。労働者派遣法改悪や「残業代ゼロ」制度など雇用のあり方を一変させ、日本中をブラック企業化する大改悪をやめさせるために総力をあげ、たたかきましょう。

4月から介護報酬が2.27%マイナスとなります。こんなことをすれば経営を直撃し、地域の介護力を低下させ、「介護難民」の増大、介護労働者の労働条件悪化と人手不足の加速など危機をいっそう深刻にします。社会保障解体路線のもとで、公的な社会保障から自己責任に大転換する攻撃が加速しています。安全・安心の医療・介護を実現する国民的な大運動を職場、地域から春闘で取り組みましょう。

福島原発事故から4年が経ちました。未だに収束のめどはたっていません。全国で行われている原発反対運動が、原発推進勢力の狙う再稼働を阻んでいます。国内全ての原発は停止していますが、需要が集中した今冬の電力は安定供給されていることは、原発の再稼働は不要という重要な内容を持っています。安倍政権による原発再稼働をやめさせるために、原発ゼロ・再生可能な自然エネルギー社会の実現をめざし春闘でたたかきましょう。

安倍政権は「アメリカと一緒に戦争する国づくり」を押し進めています。集団的自衛権行使容認の閣議決定や過激組織「イスラム国」による日本人殺害事件を契機に、戦争する国づくりの具体化という新たな段階を迎えています。辺野古沖の新基地建設、憲法改悪など、平和と民主主義を脅かす安倍首相の暴走をみんなでやめさせましょう。

以上、宣言します。

2015年3月12日

島根県医労連・国民春闘島根県共闘会議共催3・12集会

